

宇都宮用地の土壌調査結果

1. 場所 栃木県宇都宮市今泉 4-15 (調査位置案内図 参照)

2. 面積 6,562㎡

3. 履歴

当用地では、明治45年から昭和53年まで、約67年にわたり都市ガスの製造をしていました。明治45年から昭和20年までは、宇都宮瓦斯(株)が石炭ガスを製造し、その後、弊社に合併して昭和38年まで石炭ガスを約52年にわたり製造していました。現在はガスホルダー用地等として利用しています。

4. 調査方法

調査方法は、土壌汚染対策法を参考にしました。土壌は、ボーリング(最大深度 4m、3箇所)等によりサンプリングしました。地下水は、既存の地下水採取井戸(2箇所)よりサンプリングしました。土壌の分析は、履歴などを考慮して、重金属類6項目(カドミウム、シアン、鉛、六価クロム、砒素、水銀)及び揮発性有機化合物2項目(ベンゼン、1,2-ジクロロエタン)の合計8項目とし、地下水の分析は土壌の測定結果を反映してシアン、水銀の2項目としました。

5. 調査結果

土壌は、シアン、水銀において土壌溶出量及び含有量で基準値(土壌溶出量及び含有量は土壌汚染対策法の指定基準)を超過したデータが検出されました。

地下水では、土壌で基準値超過が確認されたシアン、水銀とも基準値(土壌汚染対策法の地下水基準)を超過したデータはありませんでした。

なお、土壌で下表に記載のない6項目については、基準値を超過したデータはありませんでした。

土壌溶出量分析結果一覧表

項目		基準値	基準超過データ数 (超過数 / 全試料数)	データの最大値	最大値倍率 (倍)
土壌 (溶出) (mg/l)	シアン	検出されないこと	9 / 19	4.8	48
	水銀	0.0005	4 / 11	0.15	300

備考 ①シアンの基準値超過データ数は、定量下限0.1mg/l以上の試料数を言う。

②シアンの最大汚染倍率は、基準値として定量下限(0.1mg/l)を用いた。

土壌含有量分析結果一覧表

項目		基準値	基準超過データ数 (超過数 / 全試料数)	データの最大値	最大値倍率 (倍)
土壌 (含有) (mg/kg)	シアン	50	2 / 15	180	3.6
	水銀	15	2 / 7	630	42



調査位置案内図

<参考>平成13年4月23日公表時データ

(調査ポイント計11地点、今回調査と同じポイントではありません)

土壌溶出量分析結果一覧表

項目		環境基準	基準超過データ数 (超過数 / 全試料数)	データの最大値	最大値倍率 (倍)
土壌 (溶出) (mg/l)	ベンゼン	0.01	2 / 39	0.47	47
	1,2-ジクロロエタン	0.004	1 / 10	0.020	5

地下水では、基準値(環境基準)を超過したデータはありませんでした。

対策として掘削除去を行い、その後地下水モニタリングを実施しております。